

地域包括ケア「見える化」システムを活用した分析（紀美野町）

令和5年11月

地域包括ケア「見える化」システムとは

都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、介護保険に関する情報をはじめ地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報がこのシステムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

分析にあたって

比較対象として、全国・県のほか、近隣市町・人口規模の近い町を対象としました。

1. 人口の推移

2. 高齢化率

3. 高齢者独居世帯の割合

4. 高齢夫婦世帯の割合

5. 調整済み認定率

6. 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系列）

7. 受給率（サービス系列別、要介護度別）

8. 紀美野町の現状分析と要因
- (A2_高齢化率_時系列)

(A7-a_高齢独居世帯の割合_地域別)

(A8-a_高齢夫婦世帯の割合_地域別)

(B5-a_調整済み認定率（要介護度別）_地域別)

(D8-a_調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）_時系列)

(D8-b_調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）_時系列)

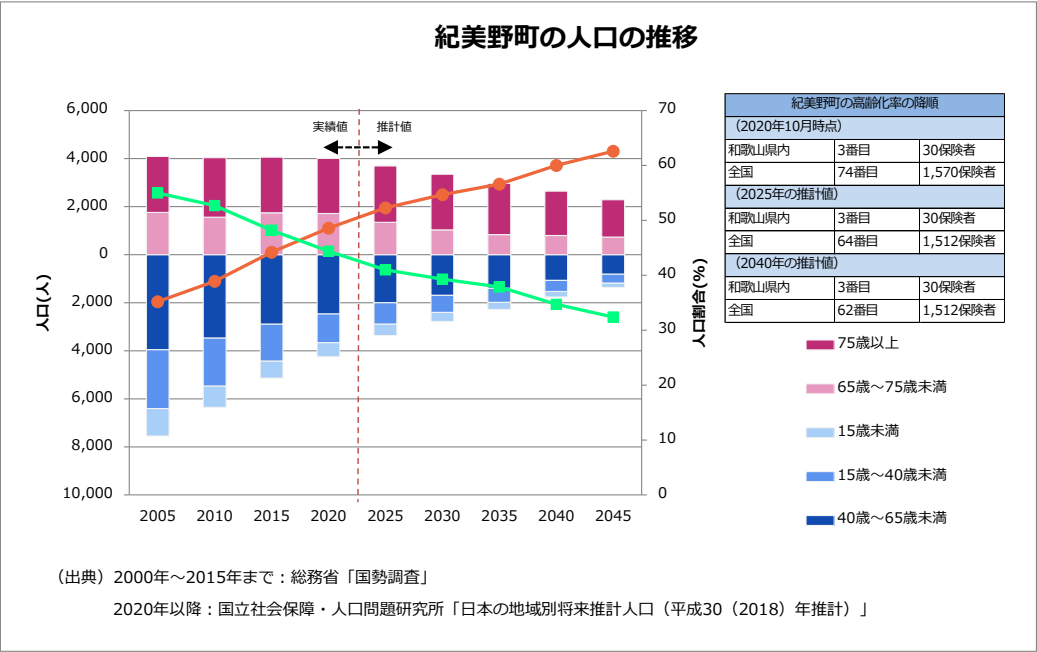
(D2_受給率（施設サービス）（要介護度別）_地域別)

(D3_受給率（居住系サービス）（要介護度別）_地域別)

(D4_受給率（在宅サービス）（要介護度別）_地域別)

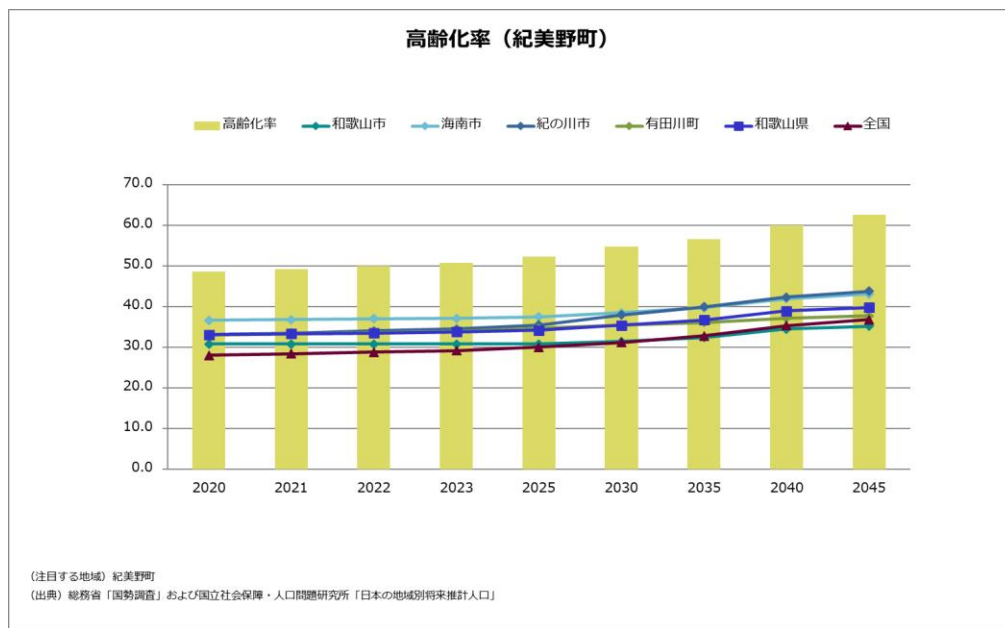
1. 人口の推移

紀美野町の人口は、2025年に7,059人、2040年に4,408人になると推計されています。
また、65歳以上の人口は減少するものの、65歳以下の人口も減少することから、両者の割合は2025年に逆転し、今後その差は益々広がっていくと見込まれています。



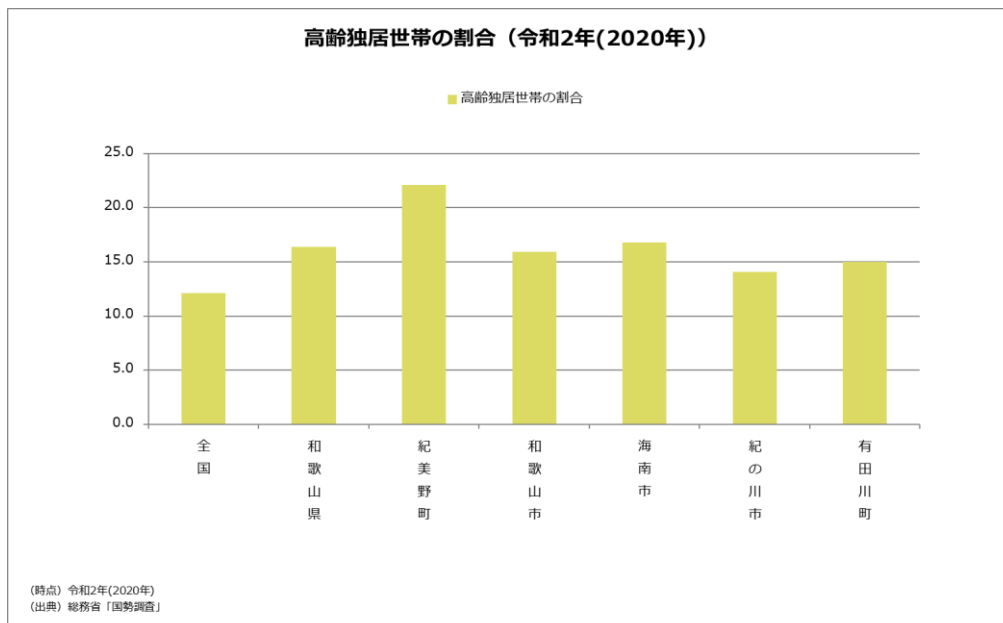
2. 高齢化率

紀美野町の2022年（令和4年）の高齢化率は49.9%。和歌山県の高齢化率33.5%を大きく上回っており、隣接する市町と比較しても一番高い値となっています。今後も高齢化率は上昇し続け、2040年には60%になることが推計されています。高齢化と人口減少は全国的な問題ではありますが、より深刻な問題として捉えなければなりません。



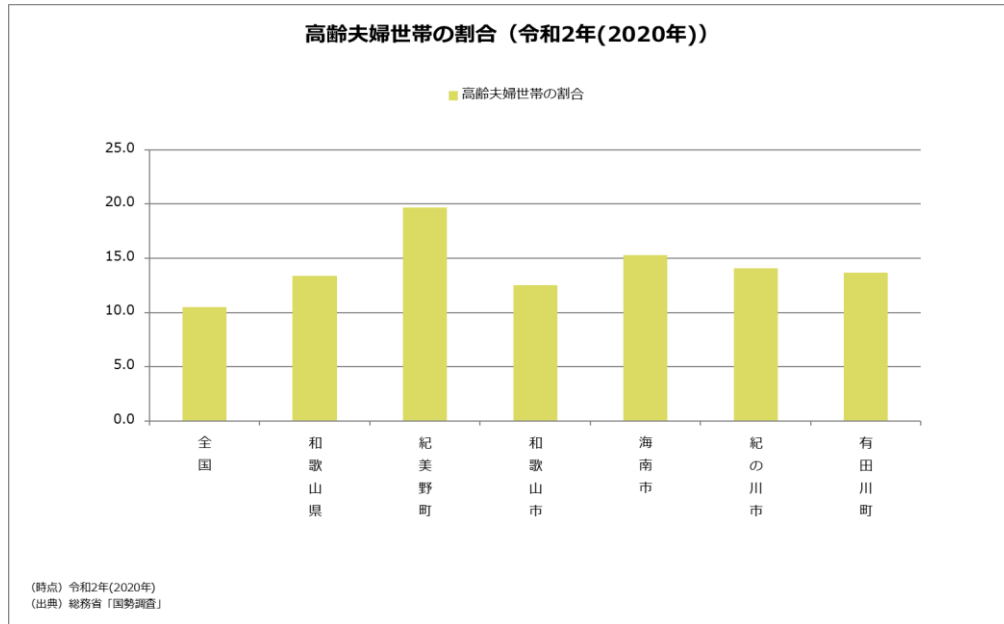
3. 高齢者独居世帯の割合

紀美野町の令和2年の高齢者独居世帯の割合は22.1%。和歌山県の16.4%や隣接する市町と比較しても最大8%高い値となっており、山間部特有の就労環境や生活環境不便さを起因とした若年層の転出が常態化し現状に至っていることが伺えます。環境面での改善が望めないものの、地域で引き続き生活していくために、健康維持のため介護予防やフレイル予防等と在宅サービスの両面で支援していく必要があります。



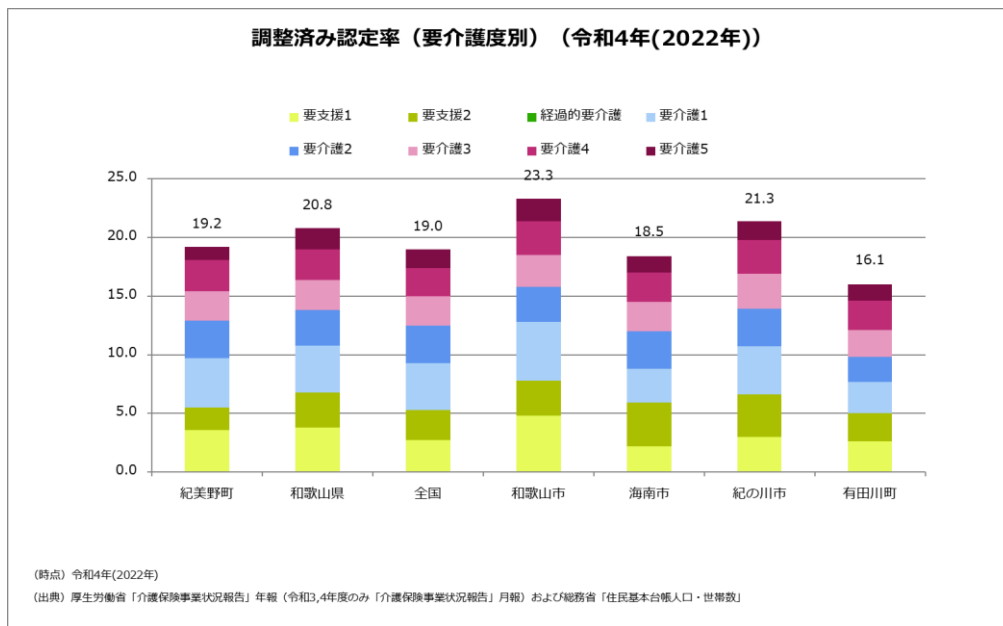
4. 高齢夫婦世帯の割合

紀美野町の令和2年の高齢夫婦世帯の割合は19.7%。和歌山県の13.4%や隣接する市町と比較して最大6%高い値となっています。
また、高齢者独居世帯と高齢者夫婦世帯を合わせた世帯の割合は39.1%となり、和歌山県の27.5%や隣接する市町と比較して最大14.1%高くなっているものの、高齢化率と並べて比較した場合、この割合は必ずしも高い値ではないことが分かりました。



5. 認定率（調整済み認定率）

紀美野町の調整済み認定率は近年、全国に近い割合となっており、和歌山県の割合を下回っています。隣接する市町と比較しても、紀美野町が特に高い割合ではありません。ただし、認定率が低い市町もあることから、介護予防を重点的に進め、この認定率を下げる余地があると考えます。



「調整済み認定率」とは

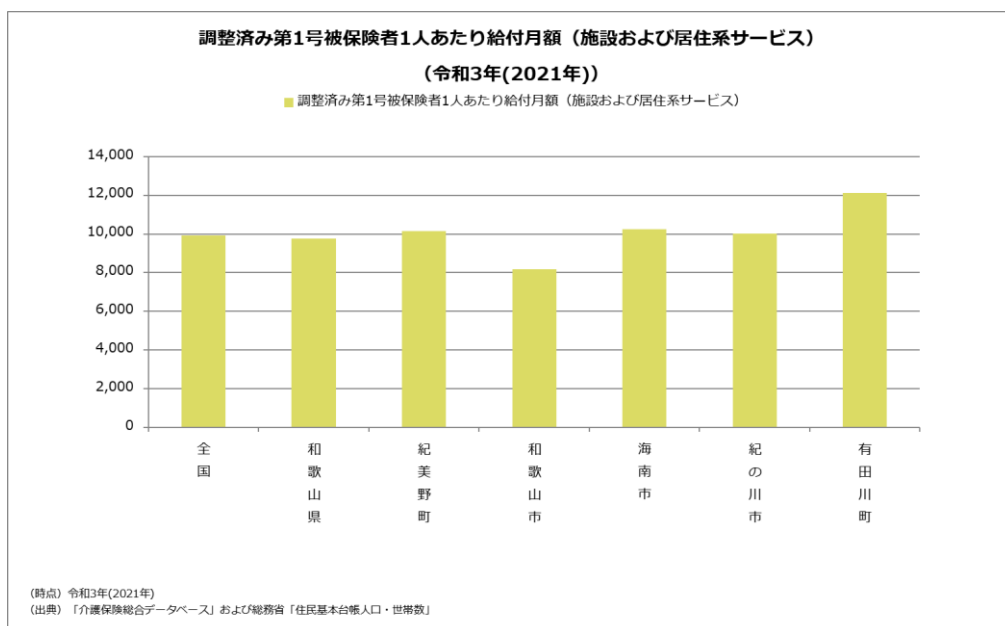
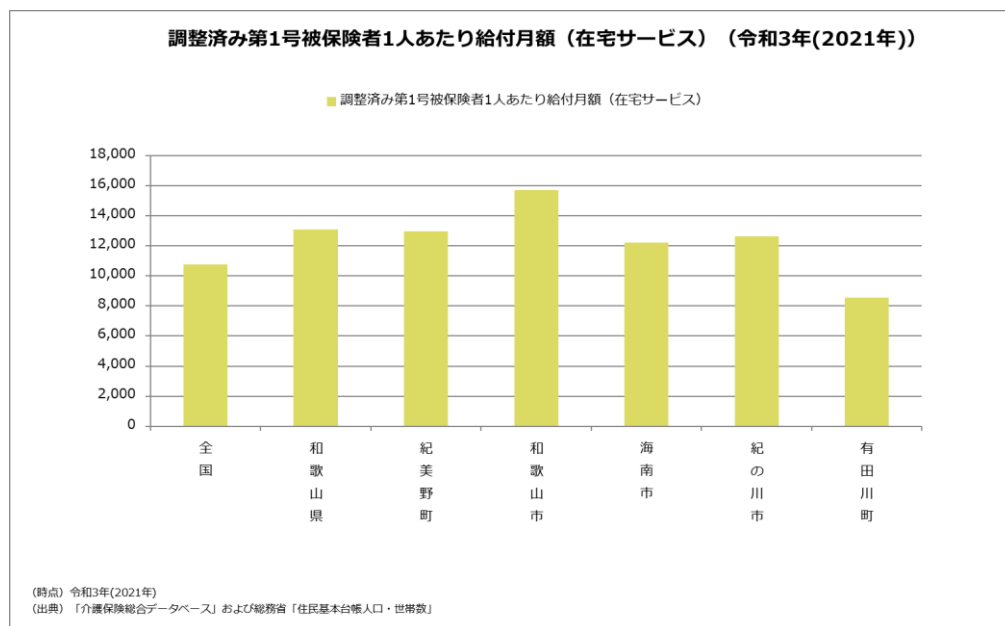
認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性別・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率をいいます。

一般的に後期高齢者の認定率は前期高齢者よりも高くなることから分かります。第1号被保険者の性別・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の時点と同じになるよう調整することで、それ以外の要素の認定率への影響について、地域間・時系列で比較がしやすくなります。なお、後期高齢者の割合が高い地域の認定率は、調整することで下がります。

6. 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系列別）

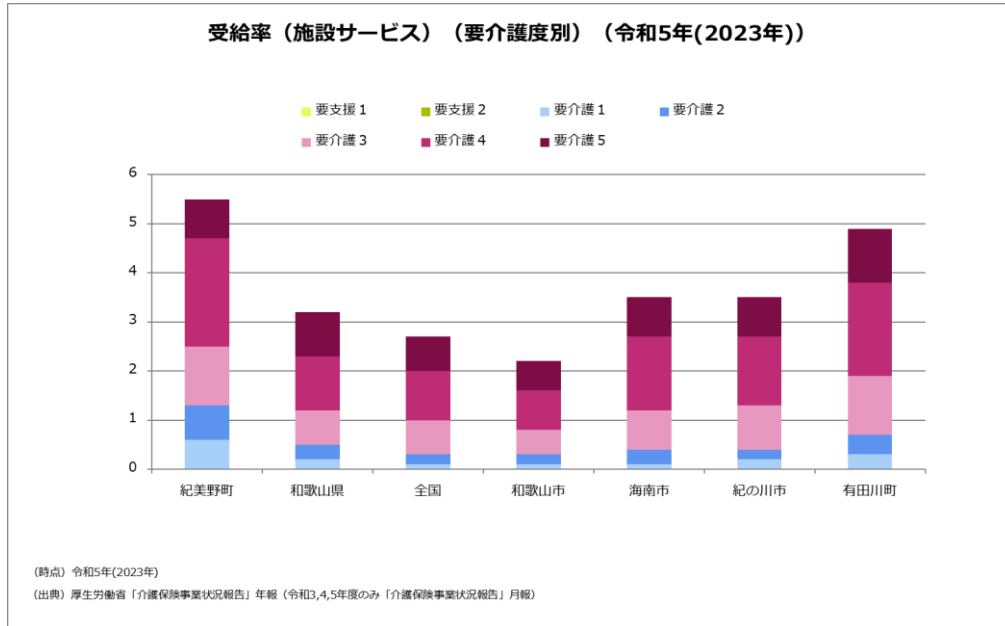
紀美野町の調整済み第1号被保険者1人あたりの給付月額は、在宅サービス及び施設・居住系サービスともにほぼ横ばいですが、令和元年度に若干増えています。全国・和歌山県・近隣の市町と比べると各サービスとも調整済み給付月額は同じくらいです。

また、紀美野町でのサービス系列別の比較では、施設及び居住系サービスに比べ在宅サービスの給付月額が高くなっています。

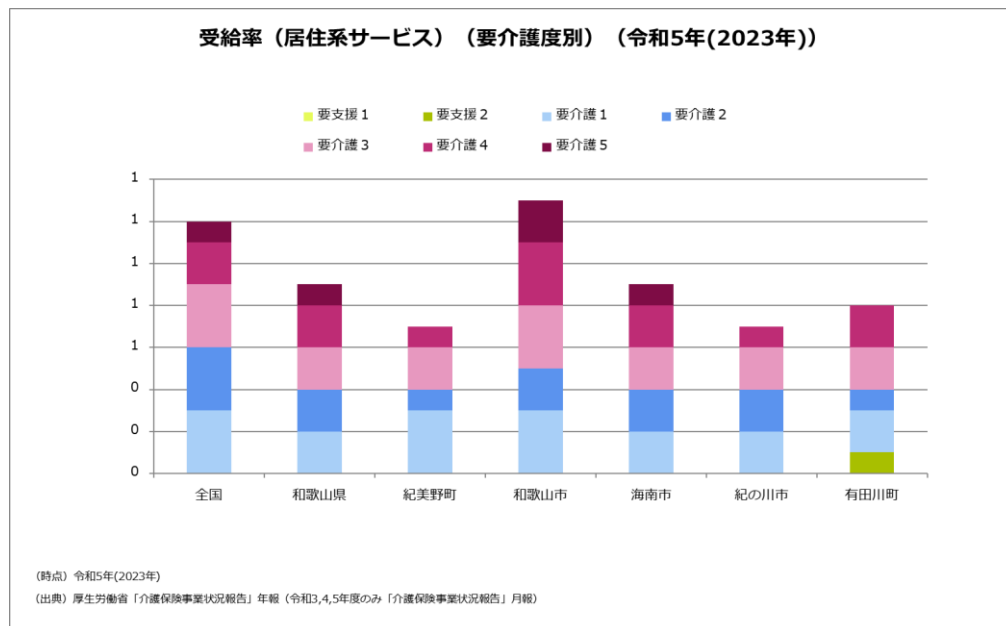


7. 受給率（サービス系列別、要介護度別）

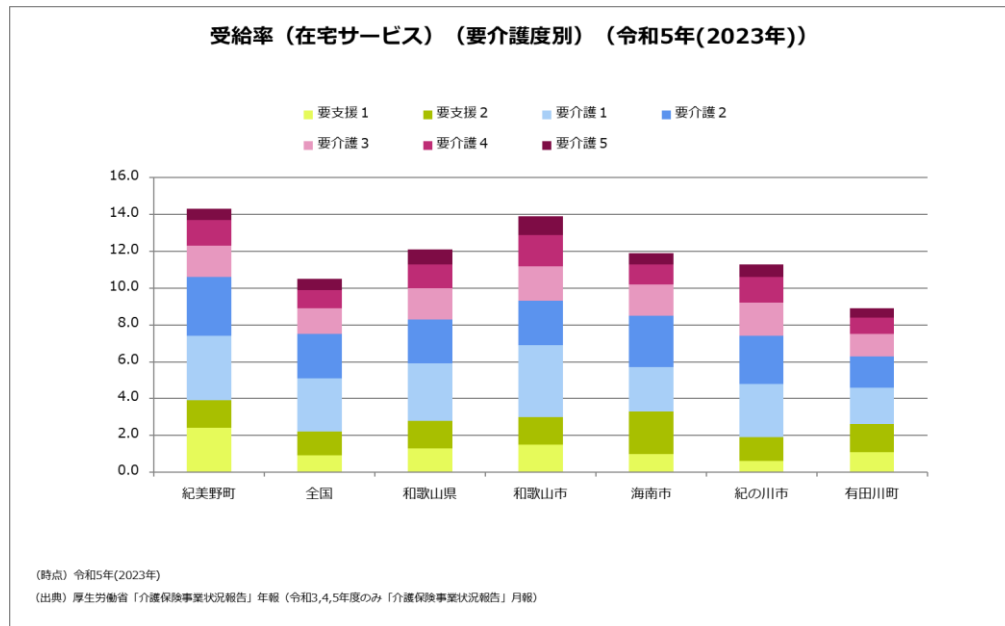
紀美野町の令和5年の在宅サービス受給率は、全国・県・隣接市町の割合を上回っています。要介護1と要介護2の受給率が他の地域よりも高いことは、高齢者だけの世帯割合が高いことや、山間といった地域性により、施設サービスのニーズが高いと考えられます。



紀美野町の令和5年の居住系サービス受給率は、全国・県の割合を下回っています。隣接市町と比較した場合でも低い受給率となっています。



紀美野町の令和5年の在宅サービス受給率は、全国・県の割合を上回っています。隣接市町と比較しても高い受給率となっており、高齢者だけの世帯割合が高く、老々介護や要介護度の重度化などに起因して、在宅生活の維持に必要不可欠となっていることが考えられます。



8. 紀美野町の現状分析と要因

紀美野町は、高齢化率や高齢者のみの世帯の割合が、全国、和歌山県及び近隣市町と比べても高い値となっており、人口減少や団塊世代・団塊ジュニア世代の加齢といった高齢・介護問題に直面します。

地域サロン等での健康相談や介護予防教室の開催、通いの場の紹介などフレイル予防の事業実施や啓発などを継続・充実していくことが必要調整済み（第1号被保険者の性・年齢別人口構成の影響を除外した）認定率や1人当たりの給付月額額は、近隣市町と大きな差はありませんが、紀美野町は高齢化率や後期高齢者の割合が近隣市町に比べても高いことから、介護サービス量は増加傾向にあります。

在宅サービスの受給率は、全国及び和歌山県や近隣市町に比べ割合が高く、特に要支援1の受給率が目立っています。

居住系サービスの受給率は、町内には認知症対応型共同生活介護のサービス提供のみのため、全国や和歌山県に比べ低い値となっています。

施設サービスの受給率は、全国や和歌山県、近隣市町を上回っています。町内に、介護老人福祉施設・介護老人保健施設を有していることや、後期高齢者の割合が高くなるに伴い重度者の割合も増え、高齢者のみの世帯割合も高いことから、施設サービス受給率が高くなっていると思われます。

以上のことから、今後の紀美野町において、疾病予防や重度化防止のための高齢者の保健事業とフレイル状態に陥らないための生活機能維持を含めた介護予防を一体的に実施するために、介護・医療・健診情報等の活用など連携し取組みを進めていきます。